

かだれ

Vol.31

2008年5月

今月の

おススメ!

- キラッと輝くボランティアさん／佐藤洋子さん
- つながり、ひろがる活動の輪！わっ！和！／雄物川一斉クリーンアップ
- NPOの活動が冊子になりました／NPO法人あきたシニアクラブ、漏船保存会
- 応援してね！／メール便を配達して下さる施設を探しています

かだれ：秋田の言葉に「かだれ、かだれ」と呼びかけるやさしい言葉があります。「仲間に入って共に語りましょう」という意味の言葉です。活動を通してあたたかなつながりをつくっていきましょう。



キラッと輝く ボランティアさん

菜の花畑のクリーンアップ活動に、ご家族で参加されていた佐藤洋子さんに聞きました。

◎ボランティア活動に参加するようになったきっかけは「主人の退職を機に、一緒に何か役立つことをしたいと思ったから」◎好きな活動は「ゴミ拾いです。袋さえあれば、どこでも、誰でもできるし、終わった後きれいになると気持ちいいから」◎ボランティアをしてよかったことは「人との出会いです。広くものごとを見ることができるようになりました」◎ひとこと「こうしてボランティアができることに、感謝しています。これからもエコマイスターとして勉強を続けながら、できることからやっていきたい」
ありがとうございました。



「かだれ」に掲載されている情報は、「秋田県市民活動情報ネット」に全てアップされています。

<http://www.akita-kenmin.jp/npo/index2.asp>



活動の

つながり、広がる

わっ!

輪!

和!

地域の課題解決に市民が主体的に取り組んでいます。問題意識を共有する人と人、人と団体、団体と団体がつながって、大きく広がる活動をご紹介します。

●一人ではなかなかできないことも、みんなでやれば楽しくできた! ●

雄物川一斉クリーンアップ



① 「誰かが声をかけ、行動していかないと」と話すパドラーズの船山さん。

この春、NPO法人秋田パドラーズが声掛け役になって、雄物川下流域の一斉クリーンアップ活動が行われました。これまで5年間にわたり続けてきたクリーンアップ活動ですが、昨年秋の集中豪雨の影響で、特にゴミが多いと感じた理事長の船山仁さん（写真左）は、昨年暮れのカヌー納めのころから、「一緒に清掃活動をしませんか」と周りの人々に声をかけ始めました。その甲斐あって、第6回目となる今回は、雄物川周辺をきれいにしたいという思いでつながった460名もの人が参加し、70リットル袋で600個分のゴミを集める大規模な活動になりました。普段、気になっていても、なかなか一人では始められなかったゴミ拾いですが、大勢で取りかかると抵抗なくでき、成果もはっきり表れて、参加者の満足度も高い活動になりました。NPO法人秋田パドラーズ <http://www.cna.ne.jp/~akita-pa/>

それぞれの思いと役割



② 国土交通省東北地方整備局秋田河川国道事務所の大友恭也さんはテントの設営、ゴミの運搬、物品の提供などのサポートを担当。雄物川の清掃活動をされたい方は、TEL.018-862-4362茨島出張所までご相談ください。



③ 秋田県地域振興局森づくり推進課の眞坂京子さん（中央）は『秋田地域 水と緑のネットワーク』の事務局として参加。ネットワーク12団体にも参加を呼びかけました。ネットワーク <http://www.pref.akita.jp/forest-p/akita/mizumidori/info.html>

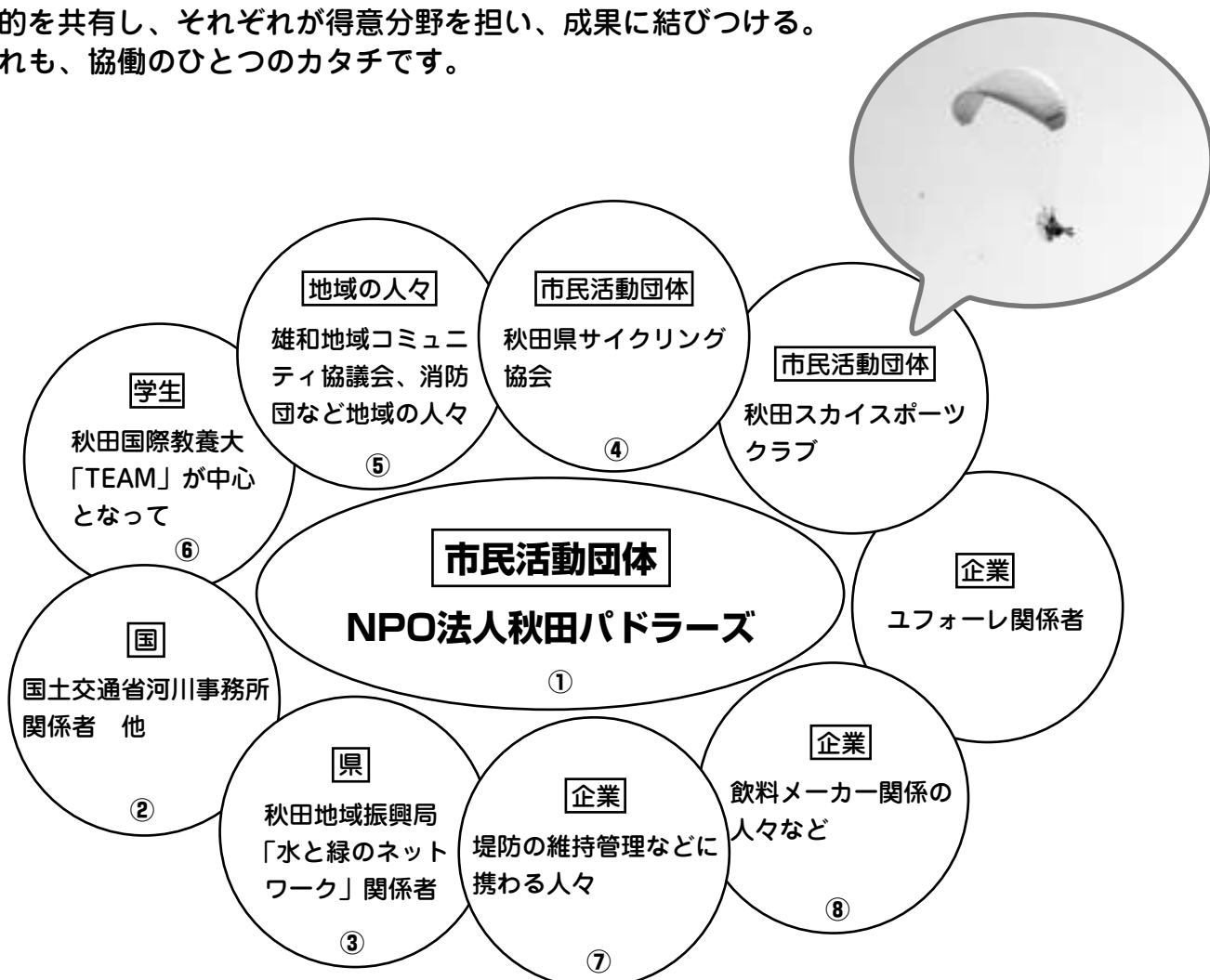


④ 秋田県サイクリング協会の黒崎一紀さん。「雄物川周辺で、サイクリングを通して地域の活力づくりに取り組んでいる。明らかに人が捨てたゴミが多い。ゴミ捨て禁止を呼び掛けたい」。



⑤ 雄和地区で消防団活動をしている第3分団代表 加藤貢さん。「私も朝からゴミ拾いに参加した。昔は川が遊び場だった。泳いだり、魚を釣ったり、いい思い出。川がきれいになったらカヌーに乗ってみたいね」。

460名の参加者は、地域の人々、市民活動団体、企業、学生、行政など様々な立場から。ゴミ拾い、運搬、分別、サポートなど役割を分担し、3時間ほどで作業を終えました。目的を共有し、それぞれが得意分野を担い、成果に結びつける。これも、協働のひとつのカタチです。



他に、中流部はNPO法人流域「水・環境」経営研究会東北など、上流部は湯沢カヌー倶楽部、十文字カヌークラブなどに声をかけ、同時期にクリーンアップ活動を行いました。

様々な人や団体が参加したクリーンアップ活動でした。ゴミを拾った後は、カヌーに乗る人、お弁当を食べる人、帰る人、こちらも様々でした。皆さんに共通していたのは笑顔でした。「もうゴミは捨てない」、「みんなでするゴミ拾いは楽しい」、「また参加したい」と、口々に話しながらそれぞれの場所へ移動していきました。



⑥ 国際教養大学ボランティアグループ「TEAM」の園田晴康さん、高橋花奈さん、大島広さん(左から)「ゴミの分別を担当しました。事前調査ですごいゴミの量が想定できたので、学生70名を集めました。今は、やりきったという満足感でいっぱいです。参加してよかった」。集計結果は下記HPにあります。TEAM <http://www.aiu-team.com/>



⑦ ゴミの運搬、分別を担当した英明工務店と加賀谷組の人たち。「仕事として堤防の維持管理をしているので、ゴミが多いことはわかっていました。今日は仕事を離れてゴミを拾いました。ボランティア活動には初めて参加しましたが、大変でした。これからも声がかれば参加したい」と、汗を流していました。



⑧ 飲み物のカンやペットボトルの投げ捨てはやめよう、と呼びかけている食品容器環境美化協会(食環協)から参加した、(株)秋田ダイドーの人たち。「自動販売機の横にリサイクルボックスを、もっと設置できるように働きかけていきたい」と話していました。食環協<http://www.kankyobika.or.jp/>



協働による「元気なふるさと秋田づくり」に向けて

秋田県生活環境文化部長 武藤 富士雄

多くのボランティアに支えられ成功を収めた国体の開催を契機に、「地域のために何かしたい」、「地域のあり方に積極的に関わっていこう」という気運が高まりを見せています。

こうした中で、県が目指す「元気なふるさと秋田づくり」を着実に進めるためには、市民活動や地域づくり活動に対する県民の理解と関心を一層深めるとともに、NPOや企業、県民がそれぞれの「良さ」や「強み」を出し合いながら協働して地域課題の解決に取り組むことがますます大事になります。

このため県では、NPO・企業・市町村などによる多様な主体との協働促進と社会貢献活動への参加促進を重点テーマに据え、活動資金を安定的に調達できる仕組みづくりに取り組むとともに、この度作成した「秋田県協働推進ガイド」に基づき、県・市町村職員を対象とした研修を実施するなど、協働推進体制の整備に力を注いでまいります。

また、地域に根ざした市民活動をこれまで以上に支援するため、秋田県ゆとり生活創造センター「遊学舎」や北部・南部市民活動サポートセンターと連携し、情報提供の充実や企業とNPOとの新たな交流拠点づくりに取り組みます。

こうした取組を通じて、豊かで暮らしやすい地域づくりの推進役として大きな役割を果たしているNPO等の様々な活動を支援するとともに、地域の力を高め新しい可能性を切り拓くことにもつながる協働の更なる推進に努めてまいりたいと考えております。

NPOをはじめ、企業、県民の皆様におかれましても、市民活動や地域づくり活動がこれからの元気な秋田づくりに欠かせない大事な取組であることを御理解いただき、積極的な参加、協力を賜りますようお願い申し上げます。

みなさんの活動をサポートするための「地域づくりの広場」です。ご利用ください。

秋田市・秋田県ゆとり生活創造センター「遊学舎」 NPO活動支援室

相談受付時間

火～土 10:00～18:00 (月・日・祝日 休み)

TEL.018-829-5805 FAX.018-829-5803

E-mail:yutori-news@sirius.ocn.ne.jp

中央版情報誌「かだれ」の編集

月～金 9:00～18:00 (土・日・祝日 休み)

TEL.018-829-5804 FAX.018-829-5803

E-mail:kazueko-k@akita-partnership.jp



横手市
南部市民活動
サポートセンター
TEL.0182-33-7002

大館市
北部市民活動
サポートセンター
TEL.0186-49-8553

市民活動情報ネット <http://www.akita-kenmin.jp/npo/index2.asp>

全県の活動情報を発信しています！

月～金 9:00～18:00 (土・日・祝日 休み) 秋田市・遊学舎

TEL.018-829-5804 FAX.018-829-5803

E-mail:info@akita-kenmin.jp



イベント・セミナーなど

5/18(日)～6/1(日) 秋田市

児玉房子ガラス絵展 ～世界を旅して賢治のくにへ～

東京から岩手県遠野に移り住んだガラス絵作家の展覧会。地球温暖化や食料、平和について考えましょう。

時間：10：00～16：30（最終日は13：00まで）
会場：秋田県生涯学習センター 入場料：無料
問合せ先：生き生き秋田を楽しむ会 TEL.018-857-1432（尾崎）

5/18(日) 秋田市

みんなあつまれ！

ボランティアグループ「子どもの木」と遊びましょう。

時間：14：30～15：00 会場：秋田県児童会館
参加費：無料
問合せ先：秋田県児童会館 TEL.018-865-1161
<http://www.akita-kenmin.jp/jidoukaikan>

5/18(日) 大仙市

安積遊歩(あさかゆうほ)講演会 ～地域で楽しく生きていく～

NPO法人障がい者自立生活センター「ほっと大仙」の地域づくり総務大臣表彰受賞を記念する講演会。

時間：11：00～12：00 入場料：無料
会場：大曲プラザたつみ 2F (TEL.0187-63-0537)
問合せ先：NPO法人障がい者自立生活センター
「ほっと大仙」TEL.0187-62-7766（奈良）

5/20(火)～ 秋田市

あけぼのサロン

乳がん手術を受けた体験者同士で悩みや不安を分かち合い、退院後の社会復帰に役立つ情報を共有します。

開催日：毎月第3火曜日 時間：14：00～16：00
場所：中通総合病院「あけぼのサロン」
問合せ先：あけぼの秋田事務局 TEL.018-824-2750

5/21(水) 秋田市

3ヶ月で10万円貯める方法 パート2

ズボラなあなたもこれで大丈夫！5年間で1,000万円貯めたカリスマ主婦の講座です。

時間：10：00～11：30 会場：遊学舎 研修室
資料代：300円
問合せ先：NPO法人いきいきFネット秋田
TEL&FAX.018-833-7916（長澤）

5/23(金) 秋田市

県外出身ママの友だち作り

転勤や結婚で県外からいらしたママ、友だちをみつけましょう。お国自慢や趣味のものをお持ちください。

時間：11：00～13：00 定員：4名
会場：陽だまりサロン（秋田市桜ヶ丘5-8-8）
参加費：700円（昼食付） サロン利用料：250円
申込・問合せ先：陽だまりサロン
TEL.080-5223-6688（若松）

<http://yaplog.jp/hi-damari/>

5/24(土) 秋田市

希望と再生の物語「風のダドウ」上映会

電話を通して心の支えになりたいと活動している「秋田いのちの電話」開局10周年記念の映画会です。

時間：①14：00～ ②16：20～ ③18：30～
会場：秋田市文化会館 小ホール (018-865-1191)
料金：一般1,300円(前売1,000円) 小中高生500円
問合せ先：NPO法人秋田いのちの電話
TEL&FAX.018-823-0021

5/24(土) 秋田市

第6回秋田ダルクフォーラム

薬物依存者を支援する「秋田ダルク」が全国薬物依存者家族連合会と共催するフォーラムです。講演「薬物犯罪とその傾向」、「処方薬依存の実態」もあります。

テーマ：仲間とともに
時間：10：00～16：30（途中昼休みあり）
会場：遊学舎 会議棟 資料代：500円
問合せ先：秋田ダルク TEL.018-889-5060

5/24(土) 宮城県仙台市

性は人権ネットワーク (ESTO) 一般公開講演会

性同一性障害を越えて～強くしなやかな私になる～
講演会後、非公開交流会(無料)と食事会(実費)を予定。

講師：上川あやさん（世田谷区議会議員）
時間：13：30開場 14：00～16：30
会場：仙台市市民活動サポートセンター 6F
定員：90名 参加費：一般1,000円 会員500円
申込・問合せ先：性は人権ネットワークESTO
E-mail:esto_sendai10@yahoo.co.jp

5/24(土) 秋田市

秋田姓氏家系研究会 春季研修会 ～歴史遺産と街づくりの取り組みを求めて～

集合時間と場所：7：45 秋田駅東口（バス1台）
コース：院内銀山、異人館、湯沢市内史跡と街並み等
参加費：6,500円（資料代含む） 申込締切：5/20(火)
申込・問合せ先：秋田姓氏家系研究会
TEL.018-839-7369（袴田）

5/25(日) 秋田市

ワールドパーカッションライブ

和太鼓、篠笛、ジェンベ、カホン、ドゥンドゥン、イタキなど様々な民族楽器を操る5人が共演します。

出演：小林義隆、安藤兄弟、成田テツロウ、右近

時間：開場12:00 開演13:00～

会場：秋田県生涯学習センター 4F 視聴覚室

定員：100名 入場料：無料

申込・問合せ先：しえぎしえぎ

TEL.080-6035-4240 (成田)

参加費：無料

申込・問合せ先：秋田県森林学習交流館・プラザクリプトン

TEL.018-882-5009

5/31(土)・6/1(日) 秋田市

演劇「3×3=9・3階3室雲女～秋田市・川反 女書店主の痛快なる一週間と二日間の物語～」

マチナカ演劇シリーズの1作。実在の秋田市民や秋田県内情報をモチーフにしたサスペンスコメディ。

日時：①5/31 19:00～ ②6/1 15:30～

③19:00～ 開場は開演の30分前

会場：ココラボラトリー (TEL.018-866-1559)

入場料：1,500円 (コーヒーと和菓子付き)

申込・問合せ先：劇団プロデュースチーム・ウィルパワー

TEL.090-4554-8006 (加賀屋)

<http://www.k3.dion.ne.jp/~w-power/>

5/29(木) 秋田市

ボランティア・NPO基礎講座 ～セカンドステージ～ 退職後の生きがいづくり

退職後の生きがいを見出すために、実際にボランティア活動をされている方の話を聞き、基礎から学びます。

時間：13:30～16:00 会場：遊学舎

参加費：500円 (あきたパートナーシップ会員は無料)

問合せ先：NPO法人あきたパートナーシップ

TEL.018-829-5801 (畠山)

5/31(土) 秋田市

誰でも登れる木登り体験と野外講座

「秋田木登りクラブ」と「森の案内人協会」による、安全ハーネス着用での植樹とロープワークの体験。

対象：親子で参加してください。

時間：9:30集合 10:00～14:30

定員：30名 会場：学習交流の森

5/31(土) 秋田市

フォルクローレ・コンサート ～アンデスより美しい風を秋田に～

アンデス民族音楽団による陽気なライブです。あるまんど山平、Belle Vientos も出演します。

時間：12:30～13:10 参加費：無料

会場：秋田県生涯学習センター (TEL.018-865-1171)

問合せ先：生き生き秋田を楽しむ会

TEL.018-857-1432 (尾崎)

NPOの活動が冊子になりました！

シニア地域活動ハンドブック さあ、地域へ！



秋田市を中心に活動しているNPO法人あきたシニアクラブは、昨年度「秋田県まちの世話役養成事業」を秋田県から受託し、シニアパワーで街を明るく元気にしようと、世話役を養成する連続講座を開催し、シニア地域活動ハンドブックを作成しました。冊子では地域のイキイキシニアを紹介しています。シニアの力や知恵が秋田を楽しくします。これから何をしようかなと思っている方にお薦めの一冊です。(A5判28ページ)

問合せ先：あきたシニアクラブ TEL.090-7522-3463 (高杉)

NPO法人あきたシニアクラブのHP：<http://www.akita-kenmin.jp/asc/>

よみがえれ、八郎湖 ～八郎湖再生活動に取り組む人々～

潟上市で八郎湖の原風景を復活させようと活動している「潟船保存会」は、昨年度「秋田県県民協働公募事業」を秋田県から受託し、4回のバスツアーの企画・開催と八郎湖再生に取り組む人々を紹介する冊子を作成しました。干拓事業の起工式から50年、昨年、湖沼法の指定を受けてしまった八郎湖を愛してやまない人々の、思いが詰まった一冊です。(A4判28ページ)

問合せ先：潟船保存会 (県立大学谷口研究室)

TEL.018-872-1626 FAX.018-872-1677 E-mail:tani@akita-pu.ac.jp



6/1(日) 秋田市

遊学舎 第1回フリーマーケット

衣料品や日常雑貨をはじめ、JAによる野菜の販売もあります。出店受付中(参加費は無料、35団体まで)。

時間: 10:30~14:00

会場: 遊学舎 ふれあい広場

問合せ先: NPO法人あきたパートナーシップ
TEL.018-829-5801(鈴木)

6/1(日) 秋田市

第1回患者塾

患者さんとお医者さんのより良い関係を築くために、医療について語り合う場です。

時間: 13:30~16:00 会場: 遊学舎 研修室

参加費: 500円(あきたパートナーシップ会員は無料)

問合せ先: NPO法人あきたパートナーシップ
TEL.018-829-5801(鈴木)

6/4(水)~25(水) 秋田市

盲ろう者向け通訳介助者養成講座

目と耳の両方に障害をもつ盲ろう者と社会とをつなぐ通訳介助者を養成します。

日時: 6/4(水)~25(水) 毎週水曜日 10:00~15:00
6/15(日) 時間未定

会場: 秋田県心身障害者総合福祉センター他

対象: 日常会話程度の手話ができ、受講後、通訳介助者として登録し活動できる方

受講料: 無料(テキスト代は別途がかかります)

申込・問合せ先: 〒010-0922 秋田市旭北栄町1-5
秋田県社会福祉会館内 秋田盲ろう者友の会 TEL&FAX.018-895-5201

6/6(金) 宮城県仙台市

Microsoft NPO Day 2008

~ITで広げるNPOの可能性~

社会課題解決のために活動しているNPOの組織強化とIT活用力向上を支援するイベントです。

時間: 13:00~17:00 参加費: 無料

会場: 仙台ファーストタワーマイクロソフト東北支社

定員: 50名(応募多数の場合は抽選)

対象: NPO関係者、行政のNPO担当者等

申込先: E-mail:npoday@jnpoc.ne.jp

問合せ先: NPO法人日本NPOセンター
TEL.03-3510-0855

6/8(日)・22(日) 県内

秋田パドラーズのカヌーイング

6/8(日) 自然観察会とクリーンアップ

時間: 9:00~12:00 定員: 40名

集合場所: 仁井田発着場 参加費: 1,000円

コース: 岩見川~仁井田

6/22(日) 新緑の玉川

時間: 9:00~14:00 コース: 夏瀬ダム

集合場所: 田沢湖町生保内生コン前

定員: 30名 参加費: 3,000円(会員: 特典あり)

昼食: 持参(材料費の実費をいただいて鍋もあり)

両日とも申込・問合せ先: NPO法人秋田パドラーズ

TEL&FAX.018-863-1166(船山)

<http://www.cna.ne.jp/~akita-pa/>

6/10(火) 秋田市

Atorion ワンコインコンサート

「いやしの風コンサートⅡ」500円で気軽に音楽が楽しめます。長谷川留美子さんのソプラノほか。

時間: 13:00~ 会場: アトリオン音楽ホール

チケット: 当日500円でご入場してください

問合せ先: 秋田アトリオン 音楽事業部
TEL.018-836-7803

<http://www.atorion.co.jp/ongaku/>

6/13(金) 秋田市

NPO法人のための会計経理講座+個別相談会

東北税理士会秋田県支部が主催します。

内容と時間: 会計講座 11:00~12:00

個別相談会 13:00~15:00

会場: 遊学舎 研修室 参加費: 無料

申込・問合せ先: NPO法人あきたパートナーシップ
TEL.018-829-5805(高杉)

6/14(土) 秋田市

ダンス体験と20年度新曲講習会

車椅子使用者や高齢者とふれあうボランティア「矢車草の会」と一緒に楽しみましょう。年齢は問いません。

時間: 11:00~15:30

会場: 秋田県社会福祉会館 参加費: 無料

申込・問合せ先: NPO法人車椅子レクダンス普及会「矢車草の会」秋田支部
TEL&FAX.018-864-6181(嶋崎)

6/15(日) 秋田市

障害児者総合相談会

障害に関する生活や就労などの各種相談に関して、各分野の専門相談員が丁寧に対応します。

時間: 13:30~16:00 会場: 遊学舎

相談料: 無料(事前にお問い合わせの上、ご来場下さい)

申込・問合せ先: 竹生寮 TEL.018-834-2577(斎藤)

6/21(土) 秋田市

市民活動のためのIT相談会

チラシ作り、ホームページ作りなど、ITに関する課題を解決するための個別相談会です。

時間: 10:00~12:00、13:00~16:00

参加費: 無料

会場：遊学舎 研修室 申込：予約が必要
申込・問合せ先：遊学舎・NPO活動支援室
TEL.018-829-5804 (代田)

申込・問合せ先：NPO法人パートナーシップ・サポートセンター (PSC)
TEL.052-762-0401
<http://www.psc.or.jp>

6/21(土) 秋田市 秋田おやこ劇場 第85回鑑賞例会

芝居工房「つる家」による大きな絵本の音楽劇です。
時間：受付14:30～ 開演15:00～
会場：ジョイナス多目的ホール (県民会館隣り)
入会金：200円 月会費：一人800円
当日入会：一人1,800円 (入会金+2か月分)
申込・連絡先：秋田おやこ劇場
TEL&FAX.018-839-0317 (月と金 10:00~14:00)
<http://blog.goo.ne.jp/a-oyako>

6/22(日) 湯沢市 講演会「クマと森と人」

中学生と教師によるツキノワグマの保護活動。熊を守ることは自然を守り、子どもの未来を守るというお話。
講師：森山まり子さん (日本熊森協会会長)
時間：12:40開場、13:30~16:30 講演・意見交換
会場：湯沢雄勝広域交流センター (TEL.0183-73-9690)
参加費：500円 (高校生以下無料) 交流会もあります。
申込・問合せ先：NPOまちおこし「結っこ」
TEL&FAX.0183-72-0155 (山内)

参加者募集

ファッションショーのモデル、衣装制作、メイクなどのスタッフ募集

秋田の人たちにファッションについてもっと興味を持ってもらうためにファッションショーなどのイベントを企画しています。
問合せ先：ショーチームShow Me (ショーミー)
TEL.090-9032-4467 (池端)

若者の地域活動体験事業 受け入れ団体 募集

ボランティア活動を通して地域活動に参加しようとする若者を受入れる地域活動団体を募集します。
受入団体：地域活動する非営利の団体
体験期間：2日以上10日以内
募集締切：6/10(火)
経費負担：体験者1人につき3,000円を交付します。
申込・問合せ先：秋田県地域活動支援室
TEL.018-860-1520

あいち未来塾 参加者募集

応募資格：18才以上、地域社会の課題解決や市民活動に主体的に取り組む意欲のある人
定員：20~25名程度 (書類審査あり)
受講料：2年間で2万円 (年1万円) 交通費は自己負担
入塾式：6/22(日) 申込締切：5/20(火)

作品募集

LIONトップ エコ プロジェクト 「ぼくの、わたしの、川の絵コンテスト」

淡水の自然を題材にした絵(スケッチ)を募集します。
応募資格：小学6年まで
詳細：四つ切画用紙 (380×540mm)、画材はクレヨン、色鉛筆、絵の具など自由
賞：最優秀賞 1名(賞状、図書カードまたは旅行券10万円)
優秀賞 5名(賞状、図書カード3万円) など
締切：6/30(月)
申込・問合せ先：ライオン(株) TEL.03-6825-7904
http://top.lion.co.jp/eco_project/03.htm

助成金

秋田県健康福祉部福祉政策課から

①地域福祉拠点づくり事業(地域の縁側づくり型) 助成
空き店舗等の既存施設を活用した、地域住民の主体的な活動により、誰もが気軽に集い、交流の出来る新たな拠点づくりを支援します。

対象団体：県内の社会福祉法人、民間非営利組織等
対象事業：地域住民の誰もが気軽に集い交流のできる拠点を新たに設置するための事業

対象経費：施設改修費、物品購入費
補助限度額：事業費の1/2以内、1団体100万円まで

②移動サービス支援助成事業助成
自家用車等を利用できない高齢者等の社会参加を推進するため、地域ニーズに合った効果的で利便性の高い移送サービスを提供する団体を支援します。

対象団体：道路運送法第79条許可を得て、新たに福祉有償運送・過疎地有償運送を行うNPO法人、社会福祉法人等

対象事業：有償運送の開始に必要な運転者の研修、運行システムの構築、広報など

助成額：1団体20万円(1回限り)

①、②とも締切：6/2(月)

申込・問合せ先：秋田県健康福祉部福祉政策課
TEL.018-860-1311

<http://www.pref.akita.jp/b-free/>

バリアフリー推進活動助成

障害者や高齢者が安心して生活できるバリアフリー社会を目指した活動を支援します。

対象団体：NPO法人、民間のグループ、町内会等

対象事業：調査、講演会、学習会、シンポジウム等

助成額：地域を対象とするもの 20万円まで、全県を対象とするもの 40万円まで

締切：6/2(月)

申込・問合せ先：○秋田地域振興局福祉環境部企画福祉課
TEL.018-855-5171
○由利地域振興局福祉環境部企画福祉課
TEL.0184-22-4120

ニッセイ財団 高齢社会助成

認知症高齢者、高齢社会の地域福祉などに関するもの

①実践的研究助成

助成期間：H20年10月から最長2年間
助成金額：1件200～250万円程度、5～8件程度
締切：6/16(月)

②先駆的事業助成

対象テーマ：認知症高齢者、高齢社会の地域福祉、高齢者の自立などに関する先駆的事業
助成期間：H20年10月から最長2年半
助成金額：1団体700万円以内、2～3団体程度
締切：5/31(土)

①、②とも申込・問合せ先：日本生命財団 高齢社会助成事務局
TEL.06-6204-4013

<http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp>

(財)在宅医療助成 勇美記念財団

①在宅医療助成一般公募(前期)

助成額：1,500万円、件数は未定
研究期間：H20年8月～H21年8月末(1年間)

②在宅医療助成指定公募(前期)

在宅医療に関する下記テーマの研究に対して
テーマ1. 過疎地における在宅医療の現状と課題
テーマ2. 最期をどう迎えるか

助成額：1、2とも総額200万円、件数は未定
研究期間：H20年8月～H21年8月末(1年間)

③在宅医療助成指定公募(前期)

市民講座開催への支援及びアンケート調査
助成額：300万円(1件30万円)

研究期間：H20年8月～H21年3月末

①～③締切：6/20(金) 必着

申込・問合せ先：(財)在宅医療助成勇美記念財団
TEL.03-5226-6266(磯崎)

<http://www.zaitakuiryo-yuumizaidan.com/main/jyosei.php>

第34回丸紅社会福祉助成金

国民福祉の向上に資することを目的とする。

対象：非営利法人、3年以上継続的な活動実績のある任意団体など

事業実施期間：H20年11月～H21年10月末

選考基準：先駆的・開拓的な事業案件で社会福祉の充実・向上に波及効果が期待されるものなど

助成金額：総額1億円 50件以上 1件200万円まで

締切：6/30(月)

申込・問合せ先：(社)丸紅基金 TEL.03-5446-2474

<http://www.marubeni.co.jp/kikin/recruiting.html>

(財)太陽生命ひまわり厚生事業団

①事業助成

対象団体：地域福祉活動を目的とするグループ等

対象事業：在宅の高齢者や障害者のための事業

助成金額：総額2,000万円 1件20～50万円

②研究助成

対象者：非営利の民間団体および個人

対象事業：老人保健、老人医療、生活習慣病に関する研究。高齢者福祉に資する研究、調査。

助成金額：総額300万円 1件30～70万円

①、②とも

事業実施期間：H22年12月末までに完了するもの

締切：6/30(月) 必着

申込・問合せ先：(財)太陽生命ひまわり厚生事業団

TEL&FAX.03-3272-6268

http://www.taiyo-seimei.co.jp/news/pdf/200321_1.pdf

応援して

メール便を配達して下さる施設を募集しています。

財団法人ヤマト福祉財団では、障害があっても自立し、社会参加できる社会の実現をめざして、「障がい者のクロネコメール便配達事業」を推進しています。

「障がい者のクロネコメール便配達事業」とは、施設や作業所の責任者が契約主体者となって、ヤマト運輸(株)と個別契約を結び、ダイレクトメールやカタログ、雑誌などを郵便受けに配達する委託業務です。ヤマト運輸の制服を着用することなど、配達業務の内容や1冊あたりの配達委託単価(賃金)は一般の配達員とまったく同等です。

障害のある人達が、街に出て生き生きと働き、地域の人との交流を深めることができるよう、施設や作業所に呼びかけています。

問合せ先：ヤマト運輸(株)秋田主管支店TEL.018-839-3290(小川)まで



燃える！若者たち

～地域のために～
地域のために活動する若者を
若者の視点からインタビュー



過し、帰国後、日本をもう一度見直したいと思ひ、国内を四年間旅しました。昨年十二月、秋田に来るたび訪れていた『あきこうまえ茶屋』が閉店したのを知って駆けつけたとき、先代の店主の斎藤さんから「よかつたらこの店やってみない？」と、訊ねられました。そのとき「ズバリ自分がやるべきことはここにある！」と感じたそうです。その後、広島の家族や秋田の友人などから力を得て、今年二月二十九日、再開店を果たしました。

「ここで将来を担う若者たちと

秋田市保戸野地区、秋田工業高校正門前にある食堂・駄菓子店「あきこうまえ茶屋」。

今この場所の人々と真剣に向き合う人がいます。新しい店主、土井卓さん（三十才）です。土井さんは広島県出身。二十五才の年、ワーキングホリデー（※注1）を利用してオーストラリアで一年間を

「あきこうまえ茶屋」に集う人々の夢をつなぐ、土井卓さん

インタビュー：野口聡子さん

11月11日、たつたホ土ま年隊とさ
たさ一き来力員遣さ
ださ一じ聞は協及派
れ若さ今感をん外普に
かだれ！若さ今感をん外普に
「燃える！若さ今感をん外普に
の「燃える！若さ今感をん外普に
昨年、「燃える！若さ今感をん外普に
野口聡子さん



大切な日々を共に過ごせることは、本当に光栄です。多くの方々の想いがつまったこの場で、世代や文化の枠を超え、互いの想いや夢を紡いでいきたい」と、土井さんは語ります。今後は音楽会、講演会、講習会、ワークショップの会場にしたり、農作物や手作り品を置く場所にするなど、さまざまな要望に応えられる場所にもしていきたいそうです。それらを通して、未来に残したい、伝えたい想いを共に確かめ合い、学び合い、人と人、みんながつながり合えたらいいと、土井さんは願っています。

優しく、穏やかな目をした土井さんは、『あきこうまえ茶屋』で出会う人々の夢をつないでいくのではないのでしょうか。一つひとつの夢が繋がっていくことで、秋田ひとつの夢が広がっていく、そんなに元氣と笑顔の輪が広がっていく、そんな素敵な未来図がインタビューを通して見えてきました。

●あきこうまえ茶屋 開店時間午前七時～午後九時（月曜定休日）
電話 018（八六四）九一〇〇

※注1 ワーキングホリデーとは、就業許可付の海外休暇旅行。青少年に限り、訪問国で働きながら旅行することを認める制度。（岩波書店発行『広辞苑』より）



イベントやセミナーなど、あなたの活動を「かだれ」で広報しませんか。発行日の前月の20日までにチラシなどをお寄せいただくと、情報パレットに掲載することができます。尚、誌面の関係で掲載できないこともあります。そのときは連絡を差し上げます。ご意見、ご要望なども8ページ下の連絡先まで電話、ファックス、E-mailでお寄せください。お待ちしております。

編集部だより

新緑におおわれる前の里山に出かけました。木立の中で見上げると、ほんのり紅く染まった葉がありました。紅葉は秋だけかと思っていましたが、春の紅葉もあることを森の主から教わりました。四季を鮮やかに感じる事ができる秋田に暮らしながら、今年度も市民活動の熱い思いをお伝えしていきます。（かず）

「かだれ」は毎月15日（但し4月と1月を除く）秋田県中央地区のボランティアやNPO活動を応援する情報誌として編集・発行しています。県北版「んだすな」は大館市・北部市民活動サポートセンターで、県南版「はんさん」は横手市・南部市民活動サポートセンターで編集・発行しています。

